

第二学年だより

町田市立薬師中学校
第2学年
令和8年6月5日
第9号

体育祭の作文紹介 3組

体育祭での楽しかったこと、感じたこと

3組生徒

私は今回の体育祭の最初の頃の練習で正直、まだ全員と仲良くなりきれしていないこともあってあまり乗る気でもなかったし、楽しいとも思いませんでした。

最初の練習ではみんなバラバラで全然団結力もなかったし、特に大縄なんて言うまでもなく最悪だったので「優勝なんて絶対できないだろうな～」という思いがずっと強く、勝てるなんて考えていませんでした。

その心境が変わり始めたのは、丁度練習後半時期の「団結の一本線」での練習でした。

女子の方は、とても上手くいっていて、少しだけ勝てるかもと思っていたときに、女子のみんなが練習も後半に差し掛かっているにも関わらず、「もっとペース上げていこう」「そっちの足ズレてるよ」「まじでうちらうますぎじゃない？」など、みんなが一人一人に呼びかけたり、励ましたり、アドバイスしているのを見て自分の中で初めて勝ちたいという思いが出てきました。みんながこんなに頑張っているのに自分だけ頑張らないなんて絶対に駄目だとも思ったし、みんなで頑張って勝ちたいと心の底から思いました。

それからは自分でもできる限り努力して、一生懸命練習に取り組んでいました。

体育祭の前日、最後の時間にみんなで円陣を組んだのがすごく印象に残っています。組む時にみんなが笑顔だったからです。その時にみんなも勝ちたいんだな、みんなも楽しみたいんだな、と思ってさらにやる気もできましたし、何よりも最後の「オー!!」と言うときに自分が思った以上にみんなが大声だったので、自分も大きな声を出したのかき消されてしまって思わず笑ってしまいました。

そのときにはもう「3組ってみんな良い人達でみんな仲良しで楽しいな」と思って、もちろん勝ちたいという思いは強かったけど、それよりもみんなで楽しんでみんなが良かったと思える、納得できるような体育祭にしたいなと思いました。

当日は予行練習よりも、迫力が違ってすごく楽しかったです。

結果は負けてしまったけど、結果が発表されるまでみんなすごくやる気で全力で楽しんでいたのを見て「このクラスで良かったな」と本当に思いました。

来年はみんなバラバラになってしまうけどそんなメンバーの中でも、今回のようにみんなで頑張っていたらいいなと思いました。

～来週の予定～

月・日・曜日	予 定
6月 8日(月)	⑥道徳
9日(火)	
10日(水)	ジャージ登校 9:00～内科検診 ⑤集団下校 定期考査一週間前 再登校の場合 16時
11日(木)	9:00～耳鼻科検診
12日(金)	教育実習終

→ 裏へ

体育祭を振り返って

3 組生徒

今回の体育祭を通して成長できたことは2つあると思います。

1 つ目はクラスの仲が深まったことです。初めて大縄をやったときの回数は 16 回でした。

団結の一本線をやったときは、歩幅もスピードもバラバラでクラスが全然まとまっていませんでした。しかし、そこから練習を重ねていくうちに大縄の記録は良くなり、団結の一本線ではバラバラだった列がきれいな一本線になっていきタイムも縮まっていきました。体育館での練習で大縄は 16 回から 103 回まで伸び、2 位にもなれました。そして予行練習で団結の一本線で転ぶことなくきれいに進み 1 位になることができました。本番では 1 位になることはできなかったけれど最初の状態からは考えられないほど、クラスが団結し成長することができたと思います。

2 つ目は体育祭を楽しめたことです。大縄や団結の一本線を始めたばかりのときはうまくいなくて暗い雰囲気でした。けれど失敗したときにドンマイと言ったり、みんなで掛け声をするようにしたら自然と雰囲気も良くなり、結果もついてきたと思います。大縄や団結の一本線のもう片方のチーム、リレーの走者を応援したり、勝ち負けよりも心から体育祭を楽しむことができて良かったです。

去年は体調不良で体育祭に出ることができなかったのですが、今年は体調管理に最大限気をつけ、練習も去年の分まで全力で取り組み、後悔なく終わることができて良かったです。体育祭を機にクラスの仲が深まったのでこれからさらに深めるために他の行事にも全力で取り組んでいこうと思います。



保護者の皆様へ

保護者会の時初めて「団結の一本線」についてお話しし、ストッキング（タイツ）提供のご協力をいただき心から感謝申し上げます。本当にどうもありがとうございました。最初はなかなか歩調が合わず、恐る恐るの練習から始まりましたが、日が経つにつれてコツをつかみ、止まらずにゴールまで行けるようになり、スピードが上がり、と成長する姿を見ることができました。大縄や学級リレーも同じですが、すべてお子様皆さんの努力とお互いの協力と理解、そして何よりも各々心の葛藤によるものを上手に昇華させた結果だと思います。エール交換も力強く表現することができたと思います。また保護者の皆様におかれましては、お忙しいなか、お子様の応援に御来校いただきありがとうございました。今後もこの体育祭の活動がお子様の学校生活の日常に反映されていくよう学年教員一同努力してまいります。